トラちゃんのカンカン虫（1950）

メディア 映画　アニメ
ジャンル ファミリー
製作国　日本
色彩　B&W
時間　10分

【解説】
　日本動画社と東宝教育映画部が製作・配給した、擬人化された子猫のトラちゃんを主役とするシリーズ第三弾にして最終作。
　ゴンドラに乗り、大型船の外壁の修理やペンキ塗りを行なうトラちゃんとミケ（三毛）ちゃん。だがトラちゃんはつい仕事に夢中になり過ぎて、周囲への注意を怠る。その結果、ハンマーで叩くカンカンの音で沖仲仕のおじさんを怒らせ、同時に外壁から削り落とした鉄屑でやっぱりおじさんを困らせてしまう。おじさんに叱られながら、またも仕事に励むトラちゃんだが……。
　日本動画社のメインクリエイターでトラちゃんの産みの親、また本作の演出（監督）とクレジットされる政岡憲三だが、会社への出資元への反発から本作の途中で現場を去ってしまう。結局、政岡は作画のみに参加した△のみのこの作品を最後に、アニメ界から手を引いた。

【クレジット】
演出　政岡憲三
製作　山本善次郎
脚本　松崎与志人
動画　熊川正雄
　　安部幸毅
　　浜桂太郎
　　日本動画
撮影　藪下泰次
音楽　坂本良隆

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.